

江戸川区立小・中学校 読書科

<div>教師の思いや願い</div> <div>・読書は大切。 ・本に親しむ子になってもらいたい。 ・必要な知識、情報を本からとらえられる（見付ける、</div>	目 的	本好きな子どもを育てる。本で学ぶ子どもを育てる。
	目 標	読書を通じて生きていくために必要な様々な知識・能力を身に付ける

平成25年3月 教育委員会指導室

読むだけの時間から目的をもった読書時間へ	<div>読書科設置 のテーマ</div>	感動を分かち合う交流する読書、深める読書へ
考えを深め想像力をはぐくむ豊かな読書、広がる読書へ		自由な意見や発想を尊重する読書へ

<div>なぜ読書科が必要なのか</div> <div><u>「既存の授業で身に付ける力」と「今、求められる学力」</u> ・改訂の趣旨でもある「読解力の育成」を図るため、実施する。 ・読書の幅を広げたり、活用力や探究力を身に付けたりすることが区の教育課題である。 ・朝読書を実施し、「読む」時間の確保だけでなく、質と量を高める必要がある。</div>	<div>読書科で言語能力を身に付けられるか</div> <div>・新しい学習指導要領の基本理念「生きる力」をはぐくむために、基礎的・基本的な知識及び技能を習得する 課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくむ 意欲 言語活動を授業に取り入れることが求められている ・読書科では言語活動を中心に行い、「言語能力」「論理的思考力」「読解力」「思</div>	<div>読書科の枠組み</div> <div>* 読書科の構成 読書に親しむ時間（朝読書等）と読書から学ぶ時間（読書活動）で構成する 読書に親しむ時間（朝読書等）・・・モジュールで実施 読書から学ぶ時間（読書活動）・・・1時間単位で実施 * 読書活動の内容 「読書表現活動」及び「学校図書館利用活用指導」「調べ学習（情報）」</div>
--	---	---

読書科のスタートは平成24年度（完全実施は平成26年度）		
平成24年度	平成25年度	平成26年度
各学校は、読書活動の計画立案、実施内容の検討、朝読書等との時間配分等を検討し、平成26年度の完全実施までに35時間の計画を立てる。		

平成25年度授業時数モデル					計30時間	
校種	時間数の考え方		時間数	評価		
小学校	3～6年は総合的な学習の時間を6時間削除し、読書活動として6時間活用する。他は余剰時間等を活用する。	朝読書（昼、下校時でも可）	18～21時間	なし		
		読書活動	9～12時間	あり		
中学校	総合的な学習の時間を6時間削除し、読書活動として6時間活用する。他は余剰時間等を活用する。	朝読書（昼、下校時でも可）	21～24時間	なし		
		読書活動	6～9時間	あり		

【小学校】総実施時間数の内の6～7割は読書に親しむ時間として、毎日10分の朝読書等をモジュールで行い1時数とする。残りの3～4割は目的をもった読書活動を1時間単位で実施する。1・2年生の時間の確保については、学習指導要領に定められた総時数を確保しつつ、時間を上乗せして実施する。

【中学校】総実施時間数の内の7～8割は読書に親しむ時間として、毎日10分の朝読書等をモジュールで行い1時数とする。残りの2～3割は目的をもった読書活動を1時間単位で実施する。

評価を子供たちや保護者に返す方法としては、ワークシートへのコメントや通知表の所見などに文書で記載したりする。

読書科				
本好きな子 本で学ぶ子				
朝読書	読書活動			
	挿絵描き ポップづくり 等	ブッククラブ ブックトーク アニメシオン 読み聞かせ 読書表現活動例	図書館利用	調べ活動

各学校での読書活動の実績・実態に合わせて、3年間で年間指導計画を作成していく。

配布した指導事例集（小学校版・中学校版）を活用する。

		小学校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
読書表現活動	興味	・教員の読み聞かせ ・アニメシオン	・児童間の読み聞かせ ・児童間のブックトーク	・ストーリーテリング ・読書郵便	・今年流行る本の紹介 ・ブックトーク
	制作想像	・好きな場面を絵に描く	・主人公日記 ・作者に手紙を書く	・その後の物語を書く ・表紙作成	・広告ポップ ・本の帯 ・宣伝チラシ
	交流発表	・ブッククラブ ・心に残った一言	・ブッククラブ ・登場人物カルタ作成	・ブッククラブ ・作家にインタビュー	・リテラチャー・サークル ・登場人物の配役決め
学校図書館活用		・探検 ・公立図書館訪問	・学校図書館マップ ・図書館履歴	・学級オリジナルライブラリー ・図書館レポート	・お薦めの本紹介 ・書店の工夫
		・興味のある	・情報モラル	・個人情報	・プレゼン

アニメシオン...「物語中に意図的に混ぜた間違いに気付かせる」というゲーム要素を取り入れた具体的な読書法

ブックトーク...あるテーマに沿って複数の本の内容を紹介し、読書意欲を起こさせる活動

ブッククラブ...少人数のグループで同じ本を読んで話し合う読書方法